

30110上下水道工事業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	13 ～ 14	道路横断管敷設工事で、現場打コンクリート升（高さ140cm）の型枠解体後、採寸のため、はしごをかけて底部に降りようとしたところ、足元が不安定だったため、はしごが傾き転落し、左肩部を負傷した。	75	1	371	1～ 9人
2	2018	1	14 ～ 15	工事現場で汚水機設置完了後、はしごを登るときに足を滑らせ簡易土留に胸をぶつけた。	63	3	371	10 ～ 29 人
3	2018	1	13 ～ 14	当該工事地区で、農業用管水路敷設のため、床掘りを行ったが、地の山の土質に応じた作業方法の比較検討（掘削勾配、土留工法等）が不十分であったため、掘削法面が不安定であったところに、作業員が入ってしまったとき、掘削法面の片側が崩落し、作業員1名が股下まで埋まった。	40	5	418	100 ～ 299 人
4	2018	1	9 ～ 10	一般住宅の下水取り出し工事で掘削作業中、シューティングプレートにて土留めをするためユンボでプレートを吊り下げ掘削場所に入れたところ途中で止まり底まで届かなかった。そこでプレートに手をかけて確認中にプレートが急に下がったため、バランスを崩して掘削した側面付近に顔面を強打し負傷した。	49	3	711	1～ 9人
5	2018	1	13 ～	路肩にて、土のう袋解体作業中に、足を滑らせて柵梁に転落した。	68	1	419	1～ 9人

21	2018	2	10 ～ 11	下水管路掘削中、高さ約1.0m、幅約0.8mの堀山から地上へ上がる際に、足下の確認不足により、前のめりに転倒し、堀山より1.0mほど脇にある水路に転落した。	74	1	418	1～ 9人
22	2018	3	11 ～ 12	杭打機のロックオーガーケーシングを通常のオーガーケーシングに取り替える作業中に、ロックオーガーケーシングを取り外しロックオーガー専用の減速機を取り替えた。次のオーガー専用の減速機を取り付ける作業で被災者と杭打機合図者の2名で減速機を固定していた。杭打機のリーダーを上昇させたのち、2名で減速機に差し込む作業中、杭打機に装着していたモンケンキャップのワイヤーが切れて落下、避けようとした被災者が転倒した。	65	2	416	10 ～ 29 人
23	2018	3	14 ～ 15	給水管布設工事の現場で掘削埋め戻しの作業中、30cm×30cm×5cm位の塊を持って移動しようとしたところ、下に置いてあった直径25cmのポリパイプにつまずいて近くにあった石に足をぶつけた。	39	2	417	1～ 9人
24	2018	3	15 ～ 16	立抗の3次掘削時、2段切梁上で掘削合図を行っていた際、掘削に伴い土砂が切梁上に落下し堆積したため、反射的に取り除きに行った。安全帯は使用していたが、土砂が堆積した切梁でない方へ設置していた親綱に引っぱられ切梁上に尻餅をつき切梁を補強してある鋼材に背中を強打した。	62	3	419	10 ～ 29 人
25	2018	3	16 ～ 17	水道管布設替工事の現場で開口部に縦吊りクランプを使用して、4トンダンプから鉄板を下し敷設作業をしていた。その際、何らかの原因で4トンダンプの荷台の上で鉄板吊り上げ中に、クランプのロックがかかっていたが外れてしまい作業員が鉄板に押し倒される際に鉄板と接触した。	55	4	372	1～ 9人
26	2018	4	15 ～ 16	足掛金物（後施工）施工管理中、B7スラブからインバートへ降りようとした際に設置が不十分であった足掛金物に手を掛けたところ、足掛金物が抜けて約2メートル下のピット部に墜落し右足を被災した。	24	1	418	10 ～ 29 人
			7					

27	2018	4	8	下水道事業管きょ布設工事の現場で、FRPM管（φ1000）を置くために設置していたバタ角につまずき転倒して右手首を骨折した。	62	2	417	1～9人
28	2018	4	9～10	下水道工事の掘削床の、管の接続をしているときに、雨の翌日の作業なので地盤が緩んでいると思われたので掘削面に養生鉄板をあてがい保護していたが、急に土砂が崩れ鉄板が倒れ、その鉄板に腰を挟まれ、骨盤を折った。	69	5	521	1～9人
29	2018	5	14～15	建設作業の工事現場にて、側溝蓋を持ち上げようとしたところ右側の肩に痛みを感じ、右手が挙らなくなってしまい、肩の腱が切れた。	59	19	521	1～9人
30	2018	5	8～9	資材置き場で材料の積み込みをする際、誤ってトラックの荷台と材料の間に指を挟んでしまい骨折した。	49	7	521	10～29人
31	2018	5	21～22	路面覆工設置準備、舗装切断作業中、舗装切断ラインを確認する際、舗装カッターの刃に右手甲が接触し負傷した。	67	8	149	30～49人
32	2018	5	10～11	移動のために歩行中、段差につまずき足首をひねった。	41	2	417	10～29人
33	2018	5	14～15	資材置き場で出張準備にトラックへ荷物を積み、2か月前から慢性的に右膝痛が続いていて、数十キロの荷物を押し込んでいたときに右膝に激しい痛みが出た。	46	19	611	10～29人
34	2018	5	14～	トラックにU字溝を機械で積み込み作業の際、トラックの荷台で誘導作業中、U字溝が落下、安全靴を履いていたが角が右足小指から	64	4	142	10～

			15	甲に掛けて当たり、痛みが強く腫れて内出血した。				29 人
35	2018	6	15 ～ 16	工事が終了し、マンホール内の切り回し管を取り外して路面清掃を行っていたとき、後ろにあった自分で開けたマンホール蓋に気付かず、落ちそうになり、両腕で支えたときに手首を痛めた。	22	1	414	1～ 9人
36	2018	6	10 ～ 11	新設管布設のため管路を堀削する際、H鋼を切断しようと同僚作業員がエンジンカッターのエンジンを掛けたとき、肘が後方にいた被災作業員の眉間に当たった。	32	6	921	10 ～ 29 人
37	2018	6	9 ～ 10	人力とバックホウを併用して堀削作業中、手堀りを行っていた被災作業員が足を滑らせ、バックホウのバケットに体をぶつけた。	30	2	418	10 ～ 29 人
38	2018	6	8 ～ 9	倉庫前に置いてある建設資材（鋳鉄管）を所定の位置へ移動するため、鋳鉄管を持ち上げようとしたとき、鋳鉄管が滑り、右足先端に当たった。	19	4	521	1～ 9人
39	2018	6	14 ～ 15	下水道工事でマンホールを設置する際、高さ2.5m地点から転落した。	61	1	414	30 ～ 49 人
40	2018	6	9 ～ 10	メーター交換作業中、訪問宅の敷地に入り玄関正面にあるベルを鳴らす際、右側から犬が近づいて来たため、左手で犬を追い払ったところ、犬が左手を噛んだ。	62	90	719	30 ～ 49 人
41	2018	7	18 ～ 19	通りの狭い上り坂で、ダンプのバック走行を誘導していた際、後方にはバックホウが停留し、ダンプに少し加速をつけて上っていたところ、ダンプの真後ろに入ってしまう、ダンプとバックホウの間に挟まれた。	58	7	221	—

42	2018	7	11 ～ 12	資材置き場周りの草刈りをしていたところ、草の中にハチの巣があり、鎌を持っていた右手を刺された、その後、ハチの大群が襲ってきたため、振り払おうとした際に、鎌が左手に当たり負傷した。	52	8	364	1～ 9人
43	2018	7	9 ～ 10	地面に置いてある便器を運ぼうとした際、力を入れたときに腰を負傷した。	31	19	921	1～ 9人
44	2018	7	16 ～ 17	軽トラックとダンプで資材を運搬中、赤信号で停車していた際、青信号に変わり発進したところ、前の軽トラックが止まっていたのに気付かず追突し、首を負傷した。	22	17	221	1～ 9人
45	2018	8	9 ～ 10	道路復旧工事をしていた際、積んでいた重機を降ろそうとしたところ、誤って右手を重機のバケットと踏み板に挟んでしまい、負傷した。	55	7	141	1～ 9人
46	2018	8	1 ～ 2	水道管を道路上で組み立てる作業中、管の向きを直そうとしたところ、手が挟まり指を負傷した。	44	7	521	10 ～ 29 人
47	2018	8	11 ～ 12	下水道工事において、人孔でパイプを引き上げ作業中に、瞬間的に胸部と背中に激痛があった。	40	19	521	1～ 9人
48	2018	8	15 ～ 16	改修工事において、水道工事後の地面埋め戻し転圧中に、左足親指を踏んでしまい、左親指骨折及び人差し指との間に裂傷を負った。	36	6	149	1～ 9人
49	2018	8	8 ～ 9	試掘する箇所道路脇で作業開始前の準備のためダンプ2台を停車していたとき、近所に住んでいる方の車が駐車場に入るため、1台ダンプを前方へ移動し、車は徐行しながらダンプ脇にいた作業員に当たり、倒されそのまま前輪のタイヤで左足を乗り上げて負傷した。	71	17	231	1～ 9人
			13					10

50	2018	8	～ 14	資材置き場を片付けの際、4tトラックの荷台から降りようとして、足を滑らせて飛び降りてしまい、右足踵を亀裂骨折した。	63	3	221	～ 29 人
51	2018	8	7 ～ 8	工場へ搬入してきたトラックの後ろ扉を開けようとトラックの後方へ走って向かい、足を滑らせ後ろに転倒しそうになり、左手をついた際に、左肩の腱を断裂した。	45	2	419	10 ～ 29 人
52	2018	8	11 ～ 12	現場作業中に、ダンプトラック荷台の後、アオリが落ちて左足親指に落下し骨折した。	56	4	221	1～ 9人
53	2018	9	12 ～ 13	工場構内の舗装改修工事で、施工区画への切り替えのため作業帯からブルドーザーを置き場へ移動する際、操作ミスにより待機していた作業員の右くるぶしをブルドーザーのキャタピラと擁壁に挟み、右下腿不全切断の怪我を負った。	64	6	149	10 ～ 29 人
54	2018	9	13 ～ 14	深さ4m、幅3.5mの掘削工事現場で、土止め支保工に対する点検・補修のため、支保工材に地上から足を乗せたが、想定よりゆるんでおり支保工材ごと落下し、骨盤等を折った。	62	1	412	10 ～ 29 人
55	2018	9	13 ～ 14	配水管布設替工事において、鉄管を掘削孔に布設するため、ユンボで吊り上げようとした。その際、吊り上げ帯と鉄管が垂直ではなかったため修正するため、オペレーターに停止の合図をしたがダンプで死角になっており、そのまま吊り上がり、鉄管が迫ってきてダンプと鉄管の間に足が挟まり、転倒して負傷した。	27	7	142	1～ 9人
56	2018	9	16 ～ 17	下水道工事現場で、敷設用鉄板をバックホウを用いて作業中、障害物（植木）と吊り荷が接触し、吊り荷が近くに停めてあった工事車両に接触しそうになったため、それを防ごうと吊り荷を掴んだ瞬間、車両と鉄板の間に左手第2指を挟んだ。	20	7	142	—
				立坑工（鋼矢板）の掘削作業時、バックホウにてホッパーを吊り下				

57	2018	9	16 ～ 17	げ、ホッパーで土砂をトラックの荷台に積み込んでいた際、荷台にてホッパーのロック作業後、退避するために後ろに下がったところ、土砂に足下を取られてトラックの鋼板に引っ掛かり、荷台から転落した。	54	1	221	10 ～ 29 人
58	2018	9	12 ～ 13	工場構内の舗装改修工事で、施工区画への切り替えのため作業帯からブルドーザーを置き場へ移動する際、操作ミスにより待機していた作業員の右くるぶしをブルドーザーのキャタピラと擁壁に挟み、右下腿不全切断の怪我を負った。	64	6	149	10 ～ 29 人
59	2018	9	13 ～ 14	深さ4m、幅3.5mの掘削工事現場で、土止め支保工に対する点検・補修のため、支保工材に地上から足を乗せたが、想定よりゆるんでおり支保工材ごと落下し、骨盤等を折った。	62	1	412	10 ～ 29 人
60	2018	9	13 ～ 14	配水管布設替工事において、鉄管を掘削孔に布設するため、ユンボで吊り上げようとした。その際、吊り上げ帯と鉄管が垂直ではなかったため修正するため、オペレーターに停止の合図をしたがダンブで死角になっており、そのまま吊り上がり、鉄管が迫ってきてダンブと鉄管の間に足が挟まり、転倒して負傷した。	27	7	142	1～ 9人
61	2018	9	16 ～ 17	下水道工事現場で、敷設用鉄板をバックホウを用いて作業中、障害物（植木）と吊り荷が接触し、吊り荷が近くに停めてあった工事車両に接触しそうになったため、それを防ごうと吊り荷を掴んだ瞬間、車両と鉄板の間に左手第2指を挟んだ。	20	7	142	—
62	2018	9	16 ～ 17	立坑工（鋼矢板）の掘削作業時、バックホウにてホッパーを吊り下げ、ホッパーで土砂をトラックの荷台に積み込んでいた際、荷台にてホッパーのロック作業後、退避するために後ろに下がったところ、土砂に足下を取られてトラックの鋼板に引っ掛かり、荷台から転落した。	54	1	221	10 ～ 29 人
			12	工場構内の舗装改修工事で、施工区画への切り替えのため作業帯か				10

63	2018	9	～ 13	らブルドーザーを置き場へ移動する際、操作ミスにより待機していた作業員の右くるぶしをブルドーザーのキャタピラと擁壁に挟み、右下腿不全切断の怪我を負った。	64	6	149	～ 29 人
64	2018	9	～ 14	13 深さ4m、幅3.5mの掘削工事現場で、土止め支保工に対する点検・補修のため、支保工材に地上から足を乗せたが、想定よりゆるんでおり支保工材ごと落下し、骨盤等を折った。	62	1	412	10 ～ 29 人
65	2018	9	～ 14	13 配水管布設替工事において、鉄管を掘削孔に布設するため、ユンボで吊り上げようとした。その際、吊り上げ帯と鉄管が垂直ではなかったため修正するため、オペレーターに停止の合図をしたがダン 14 プで死角になっており、そのまま吊り上がり、鉄管が迫ってきてダンプと鉄管の間に足が挟まり、転倒して負傷した。	27	7	142	1～ 9人
66	2018	9	～ 17	16 下水道工事現場で、敷設用鉄板をバックホウを用いて作業中、障害物（植木）と吊り荷が接触し、吊り荷が近くに停めてあった工事車 17 両に接触しそうになったため、それを防ごうと吊り荷を掴んだ瞬間、車両と鉄板の間に左手第2指を挟んだ。	20	7	142	—
67	2018	9	～ 17	16 立坑工（鋼矢板）の掘削作業時、バックホウにてホッパーを吊り下 17 げ、ホッパーで土砂をトラックの荷台に積み込んでいた際、荷台にてホッパーのロック作業後、退避するために後ろに下がったところ、土砂に足下を取られてトラックの鋼板に引っ掛かり、荷台から転落した。	54	1	221	10 ～ 29 人
68	2018	9	～ 13	12 工場構内の舗装改修工事で、施工区画への切り替えのため作業帯か 13 らブルドーザーを置き場へ移動する際、操作ミスにより待機していた作業員の右くるぶしをブルドーザーのキャタピラと擁壁に挟み、右下腿不全切断の怪我を負った。	64	6	149	10 ～ 29 人
69	2018	9	～	13 深さ4m、幅3.5mの掘削工事現場で、土止め支保工に対する点検・補修のため、支保工材に地上から足を乗せたが、想定よりゆるんで	62	1	412	10 ～ 29

			14	おり支保工材ごと落下し、骨盤等を折った。					人
70	2018	9	13 14	配水管布設替工事において、鉄管を掘削孔に布設するため、ユンボで吊り上げようとした。その際、吊り上げ帯と鉄管が垂直ではなかったため修正するため、オペレーターに停止の合図をしたがダンブで死角になっており、そのまま吊り上がり、鉄管が迫ってきてダンブと鉄管の間に足が挟まり、転倒して負傷した。	27	7	142		1～ 9人
71	2018	9	16 17	下水道工事現場で、敷設用鉄板をバックホウを用いて作業中、障害物（植木）と吊り荷が接触し、吊り荷が近くに停めてあった工事車両に接触しそうになったため、それを防ごうと吊り荷を掴んだ瞬間、車両と鉄板の間に左手第2指を挟んだ。	20	7	142		—
72	2018	9	16 17	立坑工（鋼矢板）の掘削作業時、バックホウにてホッパーを吊り下げ、ホッパーで土砂をトラックの荷台に積み込んでいた際、荷台にてホッパーのロック作業後、退避するために後ろに下がったところ、土砂に足下を取られてトラックの鋼板に引っ掛かり、荷台から転落した。	54	1	221		10 ～ 29 人
73	2018	10	3 4	配管作業が終わり、後片付けをしていたとき、ユニック車へ荷積みする際に機械と管材の間に右手人差し指と中指を挟んだ。	38	7	212		30 ～ 49 人
74	2018	10	16 17	作業場でコンクリートの切断作業中、移動する際に工具のスイッチを切り忘れ、左手に接触して負傷した。	72	8	153		1～ 9人
75	2018	10	10 11	被災作業員が掘削溝の中に入り、既設塩ビ管を撤去していた。ディスクグラインダーで管を切断していたとき、グラインダーの刃が跳ね返り、作業服の左袖が巻き込まれて左手首を負傷した。	42	8	159		1～ 9人
76	2018	10	22	現場で横矢板を設置する際、横矢板が斜めになり人力では動かなくなったため、天端からバックホウバケットで押さえて直そうとして	55	6	142		—

84	2018	11	17 ～ 18	現場から会社に戻り、倉庫で片付けをしていたとき、現場で発生した鉄板を2tダンプトラックからフォークリフトで降ろそうとし、荷台の端に寄せていたところ、誤って右足に落下させた。	19	4	521	—
85	2018	11	10 ～ 11	水道管理設作業で基面整正時、側溝際の配管の埋戻し材が砂であったため、砂が崩壊してアスファルト舗装版が滑り落ち、右足に当たった。	68	5	711	1～ 9人
86	2018	12	8 ～ 9	下水道新設工事現場で、簡易土留上部にシート設置の補強材を設置中、バランスを崩して落下し、足から着地した際に左足首を骨折及び右足、腰を打撲した。	64	1	412	10 ～ 29 人
87	2018	12	7 ～ 8	会社の送迎車で現場へ移動中、送迎車の運転者が赤信号を見落とし交差点に進入したところ、左から進入してきた軽自動車と衝突し、左後部座席に同乗していた被災者が骨折等を負った。	64	17	231	10 ～ 29 人
88	2018	12	9 ～ 10	集塵機をレンタルし本社に戻る途中、走行中の直線道路の路面凍結によりスリップし、対向車線にはみ出した。対向してきた大型コンクリートミキサー車に衝突し、衝撃により右膝を骨折した。	64	17	231	10 ～ 29 人
89	2018	12	13 ～ 14	出先より現場事務所へ自動車に戻る途中、交差点にて交通事故に遭った。被災者は青信号を確認し、交差点を南下中、相手車両が右側より交差点に進入し、被災者車両の右前部に衝突し、その際シートベルトにより胸部を圧迫され、胸部骨折した。	64	17	231	10 ～ 29 人
90	2018	12	9 ～ 10	水路管理地の除草及び土間コンクリート（水路）を工事するにあたり、水路の回りの除草及び土等を片付け、一輪車でトラック荷台に運んだ。その際、トラックのアオリを止めの近くに積んだ荷物でバランスを崩し、左側に倒れ、骨折した。	64	2	611	1～ 9人
			9	土地賃貸借契約のガレージにて作業車両より下車しようとしたと				10 ～

